

NEW PHASE

ニューフェイズ

～いつも気持ちを新たに、新しい風にのせて～

2026. 3 No. 49

contents

- ★国際交流事業2025 1
- ★会長あいさつ 1
- ★2025 宿泊研修 2
- ★海外研修 第42期 カンボジアへ 3
- ★愛媛県議会議員視察 4
- ★賛助会員・寄付金一覧等 4
- ★OK基金寄付金贈呈 5
- ★第1回研修企画講座 5
- ★We are なかま(会員紹介) 6

国際交流事業2025

活かそう女性力!
つなごう平和の心!!

講演会

色が導く世界の絆

●講師:宮城悟氏 ●会場:琉球新報ホール3階
●開催日時:2026年2月15日 14:00～

講演会に先立ち行われた開会セレモニーでは本講演の収益金の一部を沖縄平和賞委員会へ寄付金として贈呈しました。

今年度の国際交流事業講演会の第1部は、『活かそう女性力!!色が導く世界の絆』と題して、沖縄県出身の宮城悟氏の講演会が行われました。

9人兄弟の9番目として誕生したご自身の生い立ちや心相科学の世界に入った経緯など『運を味方にする経営』を実践している経営者たちの実例や数字と色の法則など、その研究が世界的にも注目されているとのこと。

家族や職場の人間関係にも使え、数字や色の世界に皆さん興味津々で耳を傾けていました。

第2部は、宮城悟氏とスペシャルトークゲストの沖縄在住のタレント・俳優・フランス語講師等マルチに活躍中のフランス出身ジリ・ヴァンソン氏とのトークショーが行われ、進行は25期野底美智代会員が務めた。

色の世界や数字は世界共通。生活の中での取り入れ方など軽快で楽しいトークとなりました。

ハワイエで販売を行なった書籍販売も大人気で来場者の関心の高さをあらわしていました。

1階エントランスロビー、2階ギャラリーでは沖縄平和賞パネル、おきなわ女性財団のハーストーリー等のパネル展示。またOK基金によるフードバンクへのご協力もありがとうございました。



宮城悟氏の講演会



宮城悟氏 ジリ・ヴァンソン氏とのトークショー



沖縄平和賞パネル展



玉城県知事のあいさつ



カンボジア研修パネル展



比嘉美佐子実行委員長から県平和・地域外交推進課の小渡悟統括官へ沖縄平和賞寄付金贈呈式

あいさつ

一般社団法人沖縄県女性の翼 会長 垣花 悦子

2025年度は「活かそう女性力!つなごう平和の心!!」というテーマのもと、会員の皆様の温かいご協力により、すべての事業を無事に終えることができました。心より厚く御礼申し上げます。

去る9月に開催いたしました宿泊研修では、沖縄経済同友会の淵辺美紀氏によるご講演を軸に、次世代プロジェクトチームが初めて手掛けた100人規模のワークショップなど、非常に活気ある有意義な時間となりました。また、海外セミナー(42期)ではカンボジア王国を訪問いたしました。現地でも出会った輝く女性たちの姿や、豊かな文化、深い歴

史に触れたことは、参加者にとって大きな糧となったことと確信しております。

国際交流事業におきましては、宮城悟氏をお招きし「色が導く世界の絆」をテーマに講演会を開催し、成功裏に収めることができました。本事業の収益の一部は、平和への願いを込め「沖縄平和賞」へ寄付させていただきました。

一般社団法人沖縄県女性の翼は、2019年12月の法人移行以来、事業の継承と社会から信頼される組織づくりに励んでまいりました。これからも男女共同参画社会の実現に寄与すべく、社会貢献活動を実践してまいります。今後とも、皆様の変らぬご指導とご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。



一般社団法人 沖縄県女性の翼

沖縄県女性の翼

検索

HP



2026年3月発行 発行/一般社団法人沖縄県女性の翼

〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1 沖縄県三重城合同庁舎5階 ☎098-917-4677
✉tsubasa.okinawa@theia.ocn.ne.jp HP <https://joseinotsubasa.okinawa>

沖縄県女性の翼

2025 宿泊研修



沖縄の経済と女性力

第32回宿泊研修会がリゾートパークホテル谷茶ベイにて2025年9月27日から28日に開催されました。今年度の宿泊研修では沖縄県子ども未来部 女性力・ダイバーシティ推進課の知花弘恵課長が「多様性が尊重される社会の実現に向けて」と題し男女共同参画社会の現状について講演をいただきました。また(公財)おきなわ女性財団の平美千子常務理事からは事業についての紹介。困難な女性の支援政策など4つの事業を県から受託しており、また基金を積み上げ自主事業の財源で活用し、情報発信ネットワーク事業、講座企画助成事業などを展開。沖縄県パートナーシップ制度が始まったこととあわせて、婚姻の形がどう変わったかをパネル展も開催したとの活発な活動の報告が行われた。



初日の基調講演は、瀨辺美紀氏による「沖縄の経済と女性力」。沖縄の経済は好調に動いているが足元では課題が多い。特に人材育成と子どもの問題、これが大きな問題。

自身はホテル業・人材派遣等を営み、沖縄経済同友会など公職も務める中で、経済と政治の分野ではまだまだ女性が少ない。同友会幹事になった当時は女性会員が5・6人で女性会を立ち上げ事務局の仕事が増えないよう任意で活動し今は女性が30人ほどになったそう。経済を語るだけでなくできることを実行しようとSDGsカラーでつくった「首里城バッジ」を一個1,000円で販売し収益を首里城復興に寄付する活動も続けているという。

沖縄の経済は復帰後から見ても右肩上がり観光収入は22倍、観光客数は18倍。今は第6次の沖縄振興計画でこれまで13兆円が投じられた効果あつての復興だと思う。

沖縄の優位性・独自性は、成長著しいアジア20億人のマーケットに近いこと、全国一の出生率と子ども人口の割合の高さ、世界のウチナーンチュネットワークがある。次の世代のためにやれることをやっていかなくては行けない。

い。経済発展のためにどうするか、夢ある沖縄を描いていきたいと言葉の端々にやり甲斐とこれまでの自身の活動・仕事に情熱を感じ感銘と刺激を頂いた講演となった。

また研修初日の目玉となったのは次世代プロジェクトの企画した大規模ワークショップ。参加者約100人という沖縄県内でもレアなケースということであったがセオリーチェンジ・セオリープログラムの手法を応用、グループ討議は会員をシャッフルし様々な年齢層が意見を述べ合いグループ代表が発表するなど初の試みで会員同士の交流も計ることができた。

宿泊研修2日目

「翼の会ぎのわん」の活動報告では会員や地域の紹介・歩みを参加者の皆さんで共有することができた。

メイン講話は株式会社ぬちまーす 副社長高安藤氏を迎えて「琉球王朝の文化がつなぐ平和」について沖縄戦の混乱によって行方がわからなくなっていた御後絵(おごえ)と藤氏の出逢いそして想い。

1965年に米留学し、アイオワ大学で歴史学の学士号を取得、帰国後は琉球電力公社(現・沖電)、米国総領事館で業務担当官と広報文化担当補佐官をつとめたという藤氏。また59歳で琉大大学院で「米国所在の沖縄文化プロビナンス」で修士論文を書き、その内容を新聞に6か月掲載させてもらったことで、新聞には「御後絵返還のきっかけをつくった」ということで驚くやら嬉しいやら。いいことも悪いこともあったが、すべてがつながっていると感じる。戦後80年の節目に御後絵が出てきたのはうれしいこと。首里城の再建に合わせて出てきたとも思える。と語った。

毎年様々な分野のスピーカーをお招きして基調講演や講話等を企画しています。忘れてはいけない!! 初日の懇親会も…どうぞ今年も楽しみに皆様の参加をお待ちしております。



Advertisement for Burger King and Gong cha, listing various store locations and contact information.

女性の翼 海外研修

第42期 カンボジアへ



令和7年9月10日、那覇空港で熱烈壮行会の後、韓国・仁川経由でカンボジアについては現地時間で23時でした。1日前に開港したばかりのテチョ国際空港の真新しい長い廊下を歩いて、これまで緊張した面持ちだった42期の皆さんから笑顔が見えました。

翌日11日の午前、プノンペンJACAカンボジア事務所での研修がスタート。カンボジア教育青年スポーツ省の教育政策アドバイザー松田徳子さんの講話『カンボジアの教育分野と女性の活躍について』と題した講話を聴き、冒頭日本のODAが、他のどの国よりもカンボジア国民の信頼を得ていること。そのODAのおかげもありカンボジアはコロナ期には低迷したが、依然高い経済成長を続けていることなどを学びました。

カンボジアの初等教育も学校の数や就学率は大きな成長を遂げたものの、教育の質については依然改善が必要と強調していました。

午後からは、Japan Heart Children's Medical Centerでの病院施設見学と沖縄県出身の医師 嘉数真理子氏の講話を聴きました。『ジャパンハート病院に関わって見える医療と福祉』と題した講話は、【カンボジアの現状は、順調な経済発展と比較して医療水準は低迷しており1991年まで内戦が続き、医療を含む社会システムの崩壊、医師不足、医療者教育不足が続いており特に小児医療は、乳幼児の死亡率が日本の10倍以上。小児医療施設の絶対的不足と、国の健康保険制度がなく、医療に係れない状況がある。】と。ジャパンハート病院では、治療

費はかからず運営費用はすべて日本の企業や財団・個人から寄付や助成金、医療従事者のボランティア精神で成り立っていること。近々、もう一つ新しい病院がオープンすると更に救える命が増える。そして、カンボジア人の医療従事者の育成にも力を入れていることなどを話されました。



アンコールワット

12日朝は、プノンペン国立博物館でクメール文明の歴史と移り変わりを堪能し、ツールスレインのポルボト虐殺博物館の見学。この頃から、42期の皆さんの緊張も解け、研修先での講師との質問のやり取りが滞りなく終えられた安堵感でリラックスしていました。午後からは、国内線でシェムリアップへ。雄大なアンコールワットの夕日を見学。生涯忘れなれぬ光景を目に焼き付けました。

13日早朝、アンコールワット朝日鑑賞へ。朝日と共に遺跡が浮かび上がる光景に感動し、バンテアイ・スレイやタ・プロムの巨大なガジュマルにクメール文明の高さと時の流れを実感しながら感動の旅の終盤を迎えました。シェムリアップ空港に向かう途中の【神戸】というレストランでは、42期の一人ひとりが挨拶し、その中には研修で自信をつけ頼もしくなった団員もいました。また期の連帯感も生まれ、残りの時間を精一杯かみしめているかに見えました。私たちが目にしたカンボジアは、まだまだ様々な問題を抱え苦悩している国でしたが、悲壮感はなく人々は意気揚々と明日の希望に向かって輝いている若い人達がいっぱいの国だと感じました。初の研修先となったカンボジアは大変貴重な経験・体験、学びとなりました。



沖縄県出身の医師・嘉数真理子氏と(前列右から4番目)



嘉数氏を囲んで





愛媛県議会人口減少・少子高齢化対策特別委員会視察

愛媛県議会の県外視察として特別委員会の西原委員長をはじめとする11名の議員(委員)と2名の随員職員で構成する愛媛県議会メンバーが2026年1月14日(水曜日)女性の社会進出の促進についての調査のため『一般社団法人沖縄県女性の翼』を訪れました。

沖縄県女性の翼が取り組んでいる活動や会の紹介等を奥村啓子顧問が行いました。議員団からは女性の翼が県の事業からスタートし一社になった現在までの会の運営や活動について核心に迫る質疑などが多数寄せられました。



愛媛県議会の皆様と

2025年度 沖縄県女性の翼正会員数		議員数	
年代	人数	県・市町村議	人数
30代	6	県議	2名
40代	14	那覇市議	1名
50代	34	宜野湾市議	2名
60代	66	豊見城市議	2名
70代	90	石垣市議	1名
80代	28	南城市議	1名
不明	16	中城村議	2名
合計	254	竹富町議	1名
		合計	12名

賛助会員募集中!

あなたも、女性の翼を応援する一員になりませんか

- 賛助会員は、女性リーダー育成の応援団!
- 海外セミナー派遣や各種活動を助成する応援団!

ひとりひとりで増員のご協力を!
個人も団体も可能です。
(年会費 個人3千円/団体1万円)
※賛助会員の方へも講座や研修会の参加案内をいたします

賛助会員 2025年9月~2026年1月 (敬称略)

- 【団体】**
1. 大空電気 2. 合同会社いちえみ
- 【個人】**
1. 糸数麻衣子 2. ホセ・マリセル・テラクルズ 3. 田中香織
4. 荻堂美沙緒 5. 島袋盛子 6. 長濱陽愛 7. 仲村弘美
8. 比嘉峰子 9. 新城芳範 10. 松田広美 11. 山城美香代

賛助会員からの声

私が沖縄県女性の翼について知ったきっかけは、知り合いの正会員の方が熱心に語られている姿に感動した事でした。女性の地位向上と、社会参加の促進、女性の社会活動、教育、労働、福祉などについて国際視野を広めながら県内各地域に貢献している事を知り、個人ではありますが活動に賛同しました。世の中や人も変わっていきませんが、ぜひ地域向上のためにも、女性の翼の皆様、羽ばたいて下さいね。心から応援しております。活動に感謝しています。
松田広美(おしやれの店 廣(ヒロ))

会員増強委員会より

賛助会員の皆様におかれましては、平素より沖縄県女性の翼の活動にご理解とご協力、そして温かいご支援を頂き、心から感謝申し上げます。誰ひとり取り残さない社会の実現、誰もが生き生きと自分らしく輝き、多様性を尊重しあう平等な社会の実現のため、賛助会員の皆様の温かいご支援が女性の翼の活動の輪が繋がっています。今年は60年に一度巡ってくる「丙午(ひのえうま)」の年。エネルギーに満ち行動力と情熱が拡大する年と言われています。「一人が一つづつ愛の声掛け運動」で女性の翼の活動にご賛同頂き、これからも皆様と手を携えて愛の大きな輪が広がっていきますよう、衷心よりお願い申し上げます。



寄付一覧 2025年9月~2026年1月

- 寄付金 一般会計**
1. チーム.ウキドキ 2. 宿泊研修物品販売分 3. 石川令子
4. 垣花悦子(18期) 5. 新春の集いチケット販売協力金
- OK基金**
1. 平美千子(41期) 2. ウェストモアキ 3. 岡本真理子(39期)
4. パザー寄付金(宿泊研修) 5. 米須涼子
6. 加藤登紀子コンサート募金 7. 加藤登紀子活動支援金
8. 座間味正子(23期) 9. 未来ファンド沖縄
10. 垣花悦子(18期) 11. ナカモトタカコ
12. 5円玉寄付金(島明美24期) 13. OK基金運営委員会一同
14. 沖縄県庁(本庁、各出先機関) 15. 平川真理子 16. 真喜屋光子
- 金箱(ペットボトル募金)**
1. No56新垣光枝(18期) 2. No47棚原利栄子(23期)
3. No58うるま市女性の翼 4. No61宮城柊呂(33期)
5. No17 6. No33新垣ミイ子(40期)
7. No22島袋富美子(31期)
- 国際交流**
奥村啓子(31期)
(一社)沖縄県女性の翼の目的に賛同し、ご支援いただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。

OK基金へ寄付金贈呈

八重山女性の翼



国際交流事業2025宮城悟氏講演会当日、八重山女性の翼(松島かず代会長)より2026年1月25日に石垣市役所で開催した八重山の女性団体が隔年で一堂に集う第22回まるごーフェスティバルでの八重山女性の翼の売り上げ4万5000円がOK基金に寄付されました。「まるごーフェスティバルは石垣市女性団体ネットワーク会議加盟団体が「まるごー」(丸座のごとく一堂に集い、講演会やワークショップ、パネル展、物品の販売、読み聞かせ会、着付け、ダンス、ファッションショーなどを行うもの。

首里東高等学校



OK基金に首里東高校の生徒代表からOK基金へ寄付があり2026年1月29日贈呈式が行われました。寄付の贈呈を行なったのは首里東高等学校の皆さんで昨年9月に開催された学祭「東雲祭」でのバザー(タコライス)の売上3万円を基金に贈ったもので徳山愛先生の引率で生徒代表として服部百華(ももか)さん、安谷屋侑杏(ゆうあ)さん首里東高等学校3年2組の皆さんはOK基金以外にも保育所などに寄付を行い売上の寄付先を選ぶ際にはDVについて調べていてOK基金を知ったとのことでした。

知っていますか? 消費税の仕組み

「知っていますか?消費税の仕組み」と題し、2026年1月18日、ているふれあいサロンにて第1回研修企画講座を開催しました。講師には元琉球大学准教授で、現在放送大学教授の日熊隆則氏をお迎えし、講座を行ないお金の仕組みや消費税、日本の借金について深く考える内容となりました。国民一人あたりの借金が増え、将来世代に負担がかかるという一般的な考え方は誤りであり、むしろ国は国債を発行し、消費税をなくすことで豊かさを生み出せるとの見解が示され、目からウロコの講座でした。参加者からは活発な質問もあり、有意義な時間となりました。
【参加者アンケートより】
◎消費税がこんなにむつかしく奥がふかいことに目からウロコでした。知っていると思っていたが、何もわかっていない。勉強することに意義があるのかも。

◎消費税から日本のお金の仕組みがわかりました。金融としての仕組みは理解できたが、個人としてはどうやれば経済に貢献できるのかも次は知りたいです。これまでの翼の研修とは違って面白かった。



下段中央 講師の日熊隆則氏

毎月11日のイオン・デーは、幸せの黄色いレシートの日。

およんの買物でだれかを幸せにするの、イオン 幸せの黄色いレシート Since 2001

あなたが応援したい団体を選んでレシートを専用BOXに投入していただくと、お買上げレシートの合計金額1%と同額の品物をその団体に寄贈します。

毎月11日の黄色いレシートは一般社団法人沖縄県女性の翼へ

- イオングループ 那覇エリア**
- | | |
|----------------|----------------|
| イオン那覇店 | マックスバリュ若狭店 |
| マックスバリュ牧志店 | マックスバリュ松山店 |
| マックスバリュ新都心めがね店 | マックスバリュ安謝店 |
| マックスバリュ壺川店 | ザ・ビッグエクスプレス小禄店 |

女性の翼 36期
とがむらひろこ
梅村宙子



女性の翼 38期
やまぎとせきこ
山里世紀子

Qまず自己紹介をお願いします。

名護市屋我地島で修学旅行生や国内外の来沖者を対象にエコツアーの事業を営んでいます。屋我地島はコンビニも信号もない島ですが、マングローブや羽地内海、東シナ海など豊かな自然に恵まれています。スタッフともども、自然に癒されながら島の魅力を案内し、多くの方々に喜ばれています。また、「ECO人やんぼる」という環境保全団体の会長としてビーチクリーンや刃物研ぎ講習会などを実施しています。民生委員の主任児童委員も務めさせていただき、児童福祉の向上に貢献したいと願い、活動しています。

Q.翼への参加きっかけは？

ECO人やんぼるの代表として「名護市女性ネットワーク協議会」の理事として活動しています。協議会から、「女性の翼」への参加を勧められ、職場の了承も得て、思い切って参加しました。台湾での研修でしたが、女性や児童福祉の意識の高さや街並みの美しさに感銘を受けました。日本の統治下にあった歴史を継承する資料館なども整備されていて、自然、歴史、文化を知ることができ、沖縄との共通点を感じる旅でした。

Q最近あったNEWSをお聞かせください。

私の事業所「屋我地エコツアーネット」の活動がRBCの「海DO宝」で放映されました。1月中旬の収録でしたが、とても天気がよく、気温も20度を超え、マングローブ散策ではシオマネキなどたくさんの生き物を紹介することができました。マングローブ染めの体験もあり、マングローブの魅力と保全することの大切さを伝えられて良かったです。



Q自己紹介をお願いいたします。

38期の山里世紀子と申します。石垣島在住で一般社団法人サポートセンターHOPE 代表理事を務めています。現在は石垣市子どもセンター(児童館)と市内初の児童館専用施設石垣市新川児童館の2館を運営、子ども食堂は毎週水曜日に開催しています。活動理念は子どもを守り母親と家族を励まし支えること。

Q女性の翼を知ったきっかけを教えてください。

私は石垣の出身ですが以前は宜野湾市に住んでいてイベントだったと記憶していますが翼の先輩である安次嶺悦子さんのお話を聞く機会がありました。その時には漠然と翼の会に思いを馳せていました。そして故郷石垣島での生活が始まり現在の活動をする中で周りからの勧めを頂いて翼38期となりました。ただ私が入会した時期がコロナ禍であったので海外研修ではなく本島内での研修だったことが残念でした。ぜひ今後時間と資金と折り合いがつけいたら海外研修にも参加できたらと考えています。

Q今後について

離島はどうしても社会資源が少ないので本島に比べると困難な状況下にある人が多く今後も母子支援に力を入れて行きたいと現在準備を進めています。相談ができて、こまわりのきく今必要としている人の為、お母さんの味方、子どもの味方になれば！がそれがHOPEなんです。

〈編集より〉笑顔が素敵な山里さんは「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞」2019年受賞この賞は女性のちからで誰もが安心して暮らせるインクルーシブな社会をめざし、勇気を持って行動を起こす「草の根の女性リーダー」に贈られるもの。



お知らせ

こんなイベントが行われます。行われました。私は今このような活動しています。〇期の〇〇〇さんの紹介をしたい！してほしい等の情報をお待ちしています。ニューフェイズでは翼会員の参加をお待ちしています。情報提供につきましては翼のメールをお願いいたします。その際には広報委員会宛て

✉ tsubasa.okinawa@theia.ocn.ne.jp

編集後記

49号ニューフェイズ発行に際しご協力頂きました皆さまに感謝致します。読んで！見て！参加したくなるような翼の活動や仲間が近く感じられるニューフェイズ・翼の広報誌を目指していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



沖縄 大川



沖縄の暮らしを豊かに。

